

2,500万トン確保せよ

第3次中央行動団、6項目要求

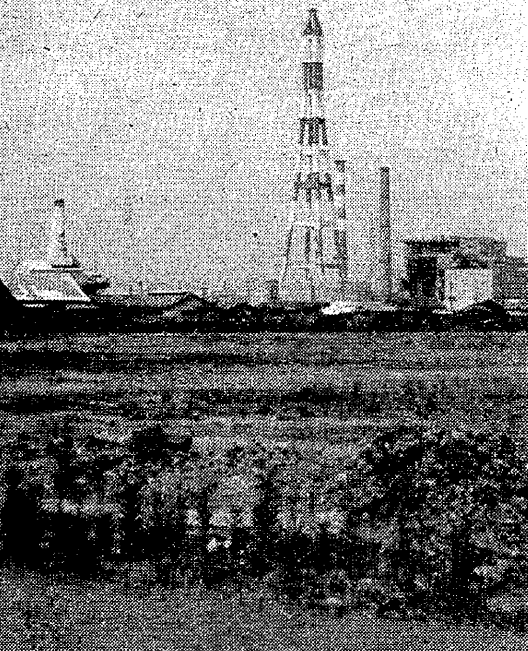
第五次で安定はかれ

炭労、石炭政策転換めざす

去る五日から十日にかけ、炭労が進めてきた「七二年石炭政策闘争第三次中央行動」には、炭協も共に百七十人の炭労労働者・家族が結集、六七日に突入した四十八時間ストライキを背景に、大手五社ほか、連産省、石炭政策審議会体制委員会などでの座り込み、代表による各企業・政府機関との交渉、さらには全政労に対する協力要請など、連日行動を積み重ね、政府首脳一と佐藤首相に対し「二千五百万トン体制のための善処」を約束させるなど、一定の成果をあげた。炭労はこの経験を土台に、今後とも「昭和五十年以降も、国内需給炭の二千五百万トン確保」ほかの要求実現をめざし、引き続き闘っていく。

こんどの炭協の「石炭政策転換」をめざす中央行動は、四十八時間ストライキにも見られるように、全体的にかなりのものがあり、なかで展開されたが、中央行動団は、とくに七日、第五次政策確立石炭危機突破中央大集会を開き、固い意志統一をこめて次の決議を行ない、今後も闘い続けていくうえでの決意を明らかにした。

石炭産業における危機は、年々深刻さを加えている。これは従来の実績から見て、一



九州電力の港発電所。今でこそ石炭を使っているものの、明日はどうなる？



発行所
三池炭労労組
大牟田市不知火町2
電話 ③3033番
編集人 山下 開
発行人 山 下 開
半年間600円 送料共

新聞コンク
ル積極参加を
熊本県総評主催の「新聞コンク
ル」に、職場新聞は積極的に参
加しましょう。また参加紙の出
ないところはどうかですか。

四山指導部をのぞいて、職場新
聞をまだ出していない職場分会が
少くありません。職場新聞は三池
新労組員、組合の仲間も含め、職
場を一つに統一し、団結させるう
えでなくてはならない武器です。
がんばりましょう。

(5) 旅費規定改正について確認。
なおとくに春闘情勢についての
報告では、三池労組一部部だた
にもかかわらず、①賃上げ闘争
が、石炭政策闘争と切り離された
ことは問題だ。②低額受給は認め
られぬ。③諸要求についても、

完全に回答をひき出してはいな
い。④最終的決断の場合、交渉団
への打ち合わせなしで行なわれ
た。⑤民主的なやり方に欠けてい
た。⑥ことなどを問題として提起
し、したがって妥結反対を表明し
たことが明らかにされた。

需給の石炭確保のため、電力、
鉄鋼、ガスが責任をもつ。
合理的な炭価引き上げのル
ールを確立し、競争エネルギーの
価格との調整に努力する。
火力発電所の公害防止設備
の新増設へ助成する。
石炭鉱業年金の、低額受給
給付の増額。
炭協職者対策の改善。
炭協向け助成を、石炭鉱業

合理化事業団に移して一元化をは
かるなど、管理体制を改善する。
——一切の対策財源の確保をは
かる。
——対策期間は昭和四十八年か
ら同五十二年までとする。
なお、現行石炭政策は年間三千
五百万トンの需給を確保するとし
てきたが、実質的には三千万
トンをさえ割るほど落ちこんでい
ることを指摘しておこう。

またもシリ細り案が…… 新石炭政策案の「骨子」

わが国
の石炭産
業を、さ
らに崩壊
に追いこ
む性格を
強くもっ
ている。
新しい石
炭政策の
方向性が
示された
のはすで
に早い。
その一
つが、通
産省の炭
産出量
から出さ
れた「長
期石炭対
策骨子」
(案)で、重要な点を抜粋する
と、ほぼ次の通りである。
——債務の肩書きを、引き続き
行なう。
——坑内骨格構造整備拡充補助
金、および保安確保補助金の補助
率を引き上げる。
——安定補給金を増額する。

強化する火力

現在、ベトナム海域に集結して
いる空母は、ハンコック、コンス
テレーション、コーラルシー、キ
ティホーク、ミッドウェイ、サ
ラトカ、タイコンデロガ、オキナ
ワの計八隻。第二次大戦でも一作
戦海域にこれだけの空母が結集し
た例はありません。さらに攻撃空
母アメリカが、大西洋地域から急
派の情報も出ています。
超大型戦略爆撃機B57。約三十
トンの通常爆弾を装備する(水爆
二個も積載可)この爆撃機も、ジ
ョソソン当時の最高時二機を大
幅に上回る二百機が投入されてい
ます。

非軍事目標に集中

みな殺しねらう
北の爆
米北
大です。
火力は絶
え、アメリカは堤防を爆破し、再
び大洪水を引き起こし、農業を破
壊させようといっています。す
でに四月以来、米軍機は、堤防三
十二カ所、ダムと水門二十九カ所
を爆撃しています。これは農業の
いきの根をよめる残虐な計画で、
原爆投下下に匹敵する凶悪な行為で
す。
ニクソン大統領は、米中、米ソ
会談を通じ、事実上、中ソからベ
トナム侵略への抗議の先をやら
わらば、北爆の歯どめを取り去り
ました。ニクソンの北爆拡大を封
じる手は、国際世論、反戦運動の
高揚にかかっています。【連合】

早や夏季闘争活発

すでに妥結組合も多数

福岡県総評の資料によれば、夏
期一時金(期末手当)闘争で、早
くも高額をもつて妥結した組合の
あることがわかった。
さらに大牟田地評加盟組合でも
かなりの組合が、早くも妥結。な
全九電一〇万九、一五八円

西鉄一四四、一四八円
三化一五〇、〇〇〇円
市職一六〇、〇〇〇円
(一・九七二、五〇〇)
数組、国労、全通、全電通、全
専売は共に一・七カ月で、それ
によればほぼ一・七カ月と推
定される。(大地評事務局談)
なお、福岡県総評の資料による
妥結例(以上のほか)は次の通り
である。

西鉄一四四、一四八円
市職一六〇、〇〇〇円
新日鉄一四四、五〇〇
千余円。新日鉄一四四、五〇〇
千余円。安川電機一三万五千円
強。フェスコ(化学同盟)三
〇万円。ほか略)

なお、各労組ともぞくぞく夏期
一時金闘争に立ちあがっており、
いよいよ活発化してきた。